

Q 自治区ってどんな組織なの？

A 住民が安心して暮らせるまちづくりを行う組織です。

生活の中で起こる地域の問題解決に向けて、さまざまな活動を展開しています。市内には10の自治区があり、自治区はいくつかの組で構成されています。



Q 自治区は何をしているの？

A 福祉活動

住民の生活を支援するため、孤立防止のための見守り活動や募金活動の協力、ふれあいサロン活性化の支援などを行っています。

さらに、行方不明者が発生したときに、自治区などで円滑に情報伝達や捜索ができるよう、行方不明者捜索模擬訓練も行っています。

広報・広聴活動

身近な地域の情報や生活に欠かせない市からのお知らせなどを回覧板で届けています。直してほしい道路や公共物に関する要望など、市との情報連携も行っています。



防災活動



災害への備えを強化するため、避難場所の確認や避難訓練、災害時の連絡体制の整備などを行っています。

災害時には、自治区が中心となって地域の安全を守るために協力し、迅速な対応を図ります。

防犯活動



住民の安全を守るため、計34台の青パトによる巡回パトロールや登下校時の見守り活動、市が行う防犯灯・カメラの設置・管理などの協力を行っています。

住民同士が協力し合い、地域の安全を維持するためのネットワークを構築します。



まちづくりの
主役は市民

自治区と コミュニティを 紹介します

協働推進課 ☎(45)6215



「自治区」「コミュニティ」ってよく聞くけど、「実際何をしている組織なの?」「それぞれ違いはあるの?」と疑問に思ったことはありませんか。同じ地域で暮らす人々が仲良く助け合いながら、さまざまな活動を行っているのが自治区・コミュニティです。今回の特集では、皆さんが抱く「ソボクなギモン」に答えながら自治区・コミュニティについて紹介します。誰もが安心して暮らせる地域を目指して、皆さんも自治区・コミュニティの活動に参加してみませんか。

有識者に聞いてみた 自治区・コミュニティの今とこれから

柔軟な考え方で自治区の運営を

現在、全国的に自治区への加入率の低下が課題に挙がっています。その土地で暮らす以上、最低限の地域問題に取り組む義務はあると思うので、地域の担い手である住民が地域に寄り添っていくことが大切です。

そのため全国の自治体に、まず自治区の活動を2つに分けることをおすすめします。防災やごみ収集などの必要不可欠な仕事と盆踊りなどのイベントを別にして、加入者が支払うお金も分けて徴収するなど明確にするといいです。さらに、役員の高齢化も懸念されています。女性や若者など、多様な人材が地域を担うようになれば、さまざまな立場の人の意見が加わり、より一層住みやすい地域になります。そのために仕事と両立できるよう活動時間を変更するなど、従来の運営方法にこだわらず、柔軟な考え方で運営していくことが大切です。

名城大学 都市情報学部 昇 秀樹 教授



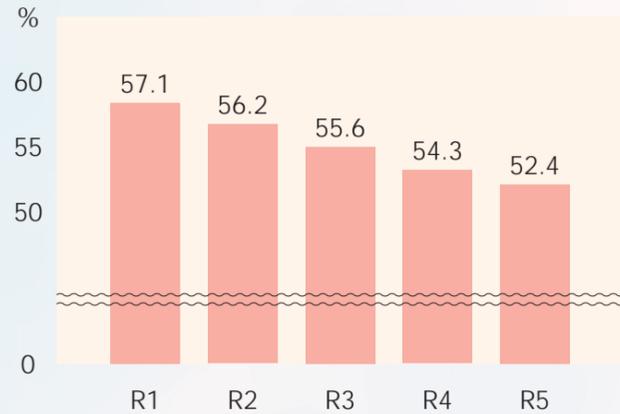
Q 自治区がなくなったらどうなるの？

A 暮らしにくいまちになります。

自治区加入率は減少しています。役員の高齢化も深刻で、運営に必要な人手が足りていない状況です。

自治区がなくなると地域の防災体制や福祉活動、ごみの分別・収集などの管理が行き届かなくなる可能性があります。住民同士のつながりが希薄になり、孤立した高齢者の支援や緊急時の協力が難しくなります。

自治区加入率の推移



Q 自治区に入るメリットは？

A 隣近所と顔の見える関係が築けます。

地域のイベントや市からの通知など、日常生活に密接した情報が自治区を通じて届けられるので、地域内での情報共有が効果的かつ円滑に行われます。

情報を共有できる

安全性が高まる

行政との窓口になる

地域の課題や要望を市に効率的に届ける役割を担うので、道路や公園の整備など生活環境の改善がスムーズに進められます。

防災訓練で災害時の対応を学ぶことで迅速な行動が可能になり、災害発生時の情報共有や助け合いをスムーズに行えます。さらに、住民による防犯パトロールは犯罪抑止につながります。

地域の情報が入りやすい

自治区では、定期的に回覧板が回ってきます。その地域ならではの情報を得ることができ、近所とのコミュニケーションをとるきっかけになっています。災害時の対策などの公的な施策についても情報が入りやすく、何か困ったことがあるときには自治区を通して、どこに相談すればいいかを知れるので助かります。

山田雅代さん

隣近所と仲良くなりましょう

地域に愛着を持ってほしい

地域の皆さんが明るく元気に過ごしてもらえたらとの思いで活動しています。具体的には、世代間交流事業や環境美化運動など、一人でも多くの地域の人に参加してもらえるような活動を行っています。自治区に入って活動に参加することで、地域の人たちとつながることができます。知っている人がたくさんできるとその地域に愛着が湧いて、住み続けたいと思うようになりますので、ぜひ自治区へ加入してほしいです。地域のことを地域のみならず守っていくため、まずは地域の人と触れ合いを持ちませんか。

自治区長会長 深谷剛寿さん (写真左)

Q 実際にはどんな活動をしているの？

A きらきら☆ボランティアとの連携



石ヶ瀬自治区と森岡自治区は、石ヶ瀬小学校の児童有志「きらきら☆ボランティア」と一緒に、特殊詐欺防止のための啓発活動や青パト広報車を活用した音声啓発活動を行っています。これらの活動は、こどもたちの主体性を引き出すとともに、地域の方とこどもたちが交流する貴重な機会となっています。

こどもどもんなか応援サポーターの宣言



市が発表した「おおぶこども輝く未来応援八策」の趣旨に賛同し、市内全自治区で構成する市区長会として「大府市こどもどもんなか応援サポーター宣言」を行いました。応援サポーターとして市と一緒に「こどもどもんなかおおぶ」をつくり、次世代を担うこどもたちのためにできる身近な取り組みを行っています。
※コミュニティも同様に宣言

黄色いリボン・ハンカチ作戦の実施

各地域で実施する黄色いリボン・ハンカチ作戦は、災害発生時に道路から見える位置に黄色いリボン・ハンカチを掲示し、世帯全員の安否を近所の人に知らせるものです。災害時に備えて住民同士がつながり、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。



- 4月
- 5月 ごみゼロ 530運動 災害対策支部点検
- 6月
- 7月 夏まつり
- 8月 盆踊り
- 9月
- 10月 公民館まつり
- 11月 黄色いリボン・ハンカチ作戦
- 12月 清掃活動
- 1月 避難訓練 防災ラリー
- 2月
- 3月
- 年間 あいさつ運動 交通立哨 昼間パトロール 下校パトロール 防犯パトロール フードドライブ活動

コミュニティの年間イベント例

4月



5月

530運動

6月

春の花植え

7月

夏まつり

8月

盆踊り

9月

公民館まつり

10月

グラウンドゴルフ大会

11月

区民運動会
秋の花植え

12月

歩け歩け大会

1月

ビーチボールバレー
大会

2月



3月

あいさつ運動
愛のパトロール
花壇の手入れなど
機関誌の発行



ソボクなギモン

Q 実際にはどんな活動をしているの？

A 530運動



毎年5月の最終日曜日を「市民行動の日」と位置付け、まちをきれいに保つための環境美化活動を行っています。

夏まつり



住民の絆を深め、地域の活性化を図るために夏まつりを開催しています。

区民運動会



住民が親睦を深めるため、区民運動会を開催しています。子どもから大人まで参加します。

歩け歩け大会



健康増進や地域交流のため、ウォーキングイベント「歩け歩け大会」を開催しています。

機関誌の発行

コミュニティの活動内容や地域の行事予定などを住民に伝えるため、機関誌を定期的に発行しています。



ソボクなギモン

Q コミュニティってどんな組織なの？

A 住民同士の仲を深める
触れ合い事業を行う組織です。

従来から住んでいる住民と新しく転入してきた住民、幅広い世代が交流を深めるため、さまざまな活動を行っています。
市内には7つのコミュニティがあり、その区域はおおむね小学校区です。



ソボクなギモン

Q コミュニティがなくなったらどうなるの？

A 住民同士のつながりが減ってしまいます。

役員の高齢化

会長・副会長の平均年齢 **71.1歳**

コミュニティ活動は若年層や働き世代の加入率が低く、さらに役員の高齢化が深刻で運営に大きな影響を与えています。コミュニティ活動は、夏まつり・運動会などのイベントや緑化推進活動など多岐にわたりますが、その多くが高齢の住民に頼らざるを得ない状況です。コミュニティがなくなると住民同士のつながりが希薄化し、地域活動が減少していきます。

ソボクなギモン

Q コミュニティに入るメリットは？

A



VOICE

地域とつながる
きっかけに



地域の子どもたちを見守るため、月2回小学校でのあいさつ活動を行っています。元気よくあいさつしてくれる子どもたちがたくさんいるので朝から元気をもらえます。コミュニティに加入したことで、同じ地域で暮らしていても普段関わる機会がない人たちとも会話をする機会が増えました。

山口登上さん



潜入取材

神田コミュニティ ビーチボールバレー大会

地域の仲を深めていきたい

地域の皆さんの健康増進と体力づくりを目指すため、年に数回みんなで一緒に楽しめるイベントを企画しています。毎回多くの方が参加してくれて、皆さんの楽しんでいる様子を見られるのでとてもうれしいです。大人も子どもも関係なく楽しめるイベントをこれからも企画して、地域の仲をより一層深めていきたいです。

神田コミュニティ体育部



一緒に大会に参加できて
楽しかった



申込書はコチラ

ソボクなギモン



コミュニティ
自治区に入るには？

申込書を
提出してください。

提出先

- お住まいの地区の自治区へ
- メール(✉kyodo@city.obu.lg.jp)・FAX((47)7320)または直接協働推進課へ

VOICE

すてきな大府市を一緒につくりましょう

市は自治区・コミュニティと連携し、さらなる地域の発展を目指しています。より強く、より快適なまちにするためには、一人一人の参加が大切です。自治区・コミュニティは、地域の安全や災害時の支援、日常的な助け合いの場として、私たちの暮らしを守る重要な役割を果たしています。皆さんが参加することで、地域がさらに温かく、つながりのある場所になります。自治区・コミュニティの活動を通じて、地域の問題を地域の人々で解決し、共に支え合いながら、住みやすいまちをつくっていきましょう。あなたの力が地域の未来をつくり、次世代に素晴らしいコミュニティが引き継がれることにつながります。

協働推進課 中島和音

ソボクなギモン

その地域ならではの新たな活動や課題改善に向けた取り組みも行っているの？

オレンジガーデニングプロジェクト



大府コミュニティ推進協議会では「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう」をテーマに、楽しみながら花を育て、認知症支援の啓発カラーであるオレンジ色の花を咲かせるオレンジガーデニングプロジェクトを行っています。毎年、川池のポケットパークにマリーゴールドなどのオレンジ色に咲く花を植えています。

田植え・稲刈り・しめ縄作り



吉田まちづくり協議会は、毎年吉田小学校5年生の児童と一緒に、年間を通して田植え・稲刈り・しめ縄作りを行っています。この活動によって世代間交流が促進され、住民一人一人が地域の一員としての意識を高め、地域の一体感や絆を深めることができます。

小学校と連携したふれあい運動会



北山コミュニティ推進協議会は、学校教育としての北山小学校運動会と社会教育としての区民運動会を統合した「北山ふれあい運動会」を令和5年度から開催しています。合同で開催することで、教職員やコミュニティ役員の負担軽減になるとともに、北山小学校に通う子どもたちが地域の皆さんと交流するきっかけの一つになります。

INTERVIEW

温もりを感じる地域を 一緒につくりましょう



人と人がつながる活動

共に歩み、共に創る、温もりを感じる地域を目指して活動しています。温もりを感じる地域をみんなで作っていくためにおそろいのオレンジベストを作って、まずは地域の皆さんにコミュニティの活動をPRしていきたいです。もし街でベストを着ている人を見かけたら、気軽に声を掛けてください。皆さんもぜひ、自分にできる範囲で地域のためにやれることを見つけて行動に移してみませんか。一人一人の行動が大きな力となって、最終的に温もりを感じる地域につながっていくと思っています。

大府コミュニティ推進協議会会長 山崎千晶さん
(写真中央)